

## 診療情報および検体（試料）を利用した臨床研究について

虎の門病院病理診断科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた記録をまとめるものです。この案内をお読みにになり、ご家族がこの研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「ご家族の診療情報・検体（試料）を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の相談窓口までご連絡ください。

### 【対象となる方】

調査対象となる期間： 2016年1月1日 ～ 2017年12月31日の間に、食道腫瘍のために虎の門病院消化器外科あるいは消化器内科に入院・通院し、食道切除術あるいは内視鏡的粘膜切除術を受けられ、現在お亡くなりになられている患者さん。

### 【研究課題名】

食道腺導管の走行と開口部の臨床病理学的検討について

### 【研究の目的・背景】

目的： 食道腺の構造像を知り、病理組織診断および内視鏡診断に生かすこと。

研究に至る背景： 食道腺とは、食道の粘膜下層に存在する、主に粘液を産生する分泌腺です。食道腺開口部は未だ内視鏡で確認することは困難で、食道腺の走行の理解も十分でないため、腫瘍が粘膜下層にある食道腺まで広がった場合は、治療前にどこまで腫瘍が広がっているかの診断が困難となりやすいです。この研究により食道腺の開口部所見や走行などを検討することは、これら顕微鏡所見を内視鏡所見と詳細に照らし合わせることで、正確な深達度、広がり診断など、将来の医療に役立つことを期待しています。

### 【研究のために診療情報・検体（試料）を解析研究する期間】

2018年6月28日 ～ 2019年3月31日

### 【単独／共同研究の別】

虎の門病院単独研究

### 【個人情報の取り扱い】

お名前、ご住所などの特定の個人を識別する情報につきましては、特定の個人を識別することができないように個人と関わりのない番号等におきかえて研究します。学会や学術雑誌等で公表する際にも、個人が特定できないような形で発表します。

また、本研究に関わる記録・資料は虎の門病院病理診断科 井下尚子のもと研究終了後 5

年間保管いたします。保管期間終了後、本研究に関わる記録・資料は個人が特定できない形で廃棄します。

診療情報・検体（試料）を虎の門病院外へ提供はありません。

【利用する診療情報・検体（試料）】

検体（試料）：病理組織

診療情報：内視鏡所見、年齢、性別、タバコアルコール歴、治療歴

【研究代表者】

虎の門病院病理診断科 井下尚子

【虎の門病院における研究責任者】

虎の門病院病理診断科 井下尚子

【利用する者の範囲】（全列記）

虎の門病院消化器外科 宇田川晴司

虎の門病院消化器外科 上野正紀

虎の門病院消化器内科 布袋屋修

虎の門病院消化器内科 飯塚敏郎

【研究の方法等に関する資料の閲覧について】

本研究の対象者のうち希望される方は、個人情報及び知的財産権の保護等に支障がない範囲内に限られますが、研究の方法の詳細に関する資料を閲覧することができます。

【ご質問がある場合及び診療情報・検体（試料）の使用を希望しない場合】

本研究に関する質問、お問い合わせがある場合、またはご家族の診療情報につき、開示または訂正のご希望がある場合には、下記相談窓口までご連絡ください。

また、ご家族の診療情報・検体（試料）が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、2018年12月31日までの間に下記の相談窓口までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様へ不利益が生じることはありません。

【相談窓口】

虎の門病院 病理診断科 井下尚子

電話 03-3588-1111(代表)